

# 下地別 施工早見表

(株)ニッソー 2016/09

	せっこうボード	コンパネ・ベニヤ板	コンクリート・モルタル	ケイカル板・スレート板	繊維壁・ジュラク壁	プリント合板	ペンキ	塩化ビニル壁紙・化粧せっこうボード
吸水性	○	○	○	○	○	×	×	×
事前に	<ul style="list-style-type: none"> <li>下地に動きがある場合は十分に固定してから、各施工を行って下さい。</li> <li>下地に湿気がある場合は十分に乾燥させて下さい。その表面に浮きがある場合や埃・汚れが付着している場合は、取り除いてから施工して下さい。</li> <li>木枠や床などの養生を行って下さい。(施工中にシーラーやパテがはみ出した場合は、直ちにウエス等で拭き取って下さい。)</li> <li>各製品の使用方法・注意事項をよくお確かめの上でご使用ください。また下地材と壁紙(塗料)との相性も確認して下さい。</li> </ul>							
下地調整	<p>GL工法の場合には、ボード貼り後の養生期間を十分にとって下さい。</p> <p>せっこうが剥き出しになっている個所では、シーラー処理を行って下さい。</p>	<p>部位により吸水率にバラツキがある下地のため、シーラー処理が必要です。</p> <p>下地材に伸縮の恐れがありますので、パテ施工の際にはファイバーテープを必ず併用して下さい。</p> <p>※アクがひどい場合には、専用のアク止め剤を使用して下さい。</p>	<p>弱アルカリの下地であり、変色や接着剤などの劣化を防ぐために、シーラー処理が必要です。</p> <p>下地施工後の養生(乾燥)期間は十分とって下さい。</p>	<p>吸水性の大きい下地であり、パテの剥離を防ぐために、シーラー処理が必要です。</p> <p>下地材に伸縮の恐れがありますので、パテ施工の際にはファイバーテープを必ず併用して下さい。</p>	<p>表面強度に乏しい下地のため、塗装材の浮き等は十分に落として下さい。</p> <p>吸水性が大きい下地のためシーラー処理が必要です。</p> <p>※塗装材の浮きが酷い場合は、施工法を再検討して下さい。</p>	<p>吸水性に乏しい下地であり、パテの接着不良を防ぐために、プライマー処理が必要です。</p> <p>接着を良くするために、下地の表面をサンダーなどで荒らしておきます。</p>	<p>部位により吸水率にバラツキがある下地のため、プライマー処理が必要です。</p> <p>プライマーの接着を良くするために、下地の表面をサンダーなどで荒らしておきます。</p>	<p>吸水性に乏しい下地であり、パテの接着不良を防ぐために、プライマー処理が必要です。</p>
シーラー・プライマー (施工面積)	<p>『NSパワーシーラー』を2倍に希釈して塗布して下さい。</p> <p>約70~100㎡/3.5kg缶</p>	<p>『NSパワーシーラー』を2倍に希釈して塗布して下さい。</p> <p>約70~100㎡/3.5kg缶</p>	<p>『NSパワーシーラー』を2倍に希釈したものを、試し塗りを行ってから数回塗布して下さい。</p> <p>約50~70㎡/3.5kg缶</p>	<p>『NSパワーシーラー』を2倍希釈から原液の幅で調製し、試し塗りを行ってから塗布して下さい。</p> <p>約60~80㎡/3.5kg缶</p>	<p>『NSパワーシーラー』を水を少なめに希釈したものが原液を、試し塗りを行ってから塗布して下さい。</p> <p>約30~50㎡/3.5kg缶</p>	<p>『プライマー-A』を1.2倍希釈から原液の幅で調製し、試し塗りを行ってから塗布して下さい。</p> <p>約20~30㎡/2kg缶</p>		
パテ	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーラー面の乾燥を確認して下さい。不十分だとその効果が発揮されません。</li> <li>ファイバーテープを目地を中心に貼りつけ、パテペラでよく押さえて密着させます。(弱アルカリ下地には『パワーメッシュ』のご使用をお勧めします。)</li> <li>下塗り用パテをV溝・段差など埋めるように塗付します。(混水量を多くしすぎた場合、肉やせや接着不良の原因にもなります。)</li> <li>上塗り用パテを平滑になるように塗付します。(下塗りしたパテの乾燥を確認して下さい。)</li> <li>サンダーを掛けられた場合は、その埃を十分に払って下さい。(埃が残ったまま施工を行いますと、パテやクロス・塗料の剥離の原因になります。)</li> </ul> <p>☆クラック発生が予想される個所等には、微弾性・強接着の『NSタフクラック・P』をお勧めします。(弱アルカリ下地にはペーストタイプパテ、『パワークラック異板地』もあります。)</p>							
ポイント!	<p>ビス頭の処理にはヤセの少ない『ワンタイム』が好評です</p>	<p>せっこうボードとコンパネ・ベニヤ板との目地処理には『NSタフクラック・P』がお勧めです</p> <p>パテの接着力を上げるため、『NSパワーシーラー』を5%程度混和されることをお勧めします</p>	<p>弱アルカリ下地に対応した『NSジョイントセメントG-DX』がお勧めです。</p>	<p>せっこうボードとケイカル板・スレート板との目地処理には『NSタフクラック・P』がお勧めです。</p>	<p>パテの接着力を上げるため、『NSパワーシーラー』を5%程度混和されることをお勧めします。</p>	<p>パテの接着力を上げるため、『プライマー-A』を5%程度混和されることをお勧めします。</p>		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロス貼りの際には、でん粉糊「8」に対して『プライマー-A』を「2」の割合で混合後、水を希釈・調整した糊を使用して下さい。(糊の接着が強化されます)</li> <li>クロスカットの際には、パテやボード面を傷つけないよう下敷きテープを使用して下さい。</li> <li>ペイント仕上げの際には、上パテが十分に乾燥してからシーラーを施して下さい。またペイントの種類によって試し塗りを行って下さい。</li> <li>カビの発生している箇所には「カビ止めシーラー」が有効です。</li> </ul>							